

## 2022 年度 教育 研究 活動 報告 用 紙 (様式 9)

氏名	八尋春海	職名	教授	学位	修士 (文学) (1993 年九州大学)
研 究 分 野			研究内容のキーワード		
観光学			観光資源、阿蘇市、ニューツーリズム		
研 究 課 題					
阿蘇市における観光資源の活用					
担 当 授 業 科 目					
前期 初年次セミナー I、人文学入門、海外旅行実務、専門演習 I、欧米観光文化地理 I、卒業研究					
後期 映画で学ぶ欧米文化、映画で学ぶ世界遺産、欧米観光文化地理 II、専門演習 II、卒業研究					
授業を行う上で工夫した事項 (※ 助手については、実習・演習等の指導を行う上で工夫した事項)					
授業科目名【初年次セミナー I】 人数が少なかったため、それぞれの履修生の性格にあわせて授業を進めるようにした。					
授業科目名【人文学入門】 リレー講座のうちの 3 回を担当したため、内容が重複せず、新入生が興味を抱くような内容の授業にした。					
授業科目名【海外旅行実務】 時差の計算が最も難しいようなので、3 回に分けて少しずつ理解ができるように工夫をした。					
授業科目名【専門演習 I】 オンライン中心の学年で横のつながりが薄かったため、グループディスカッションを多用して人間関係が深まるように心がけた。					
授業科目名【欧米観光文化地理 I】 まずは、学生の認知度の高い国々を取り上げて、観光文化地理への興味が高まるようにした。					
授業科目名【卒業研究】 着実の論文執筆が進むように、毎回の課題をデータに入れるように指導した。					

<p>授業科目名【映画で学ぶ欧米文化】</p> <p>その時々でマスコミで話題になっている時事問題を解説することで、授業の内容が深まるようにした。</p>
<p>授業科目名【映画で学ぶ世界遺産】</p> <p>単なる知識の伝達にならないように、それぞれの世界遺産が抱えている問題も紹介し、学生の社会に対する意識を高めた。</p>
<p>授業科目名【欧米観光文化地理Ⅱ】</p> <p>前期の「欧米観光文化地理Ⅰ」で取り上げた国については、全く違った角度からアプローチをして学生を知的に刺激した。</p>
<p>授業科目名【専門演習Ⅱ】</p> <p>フィールドワークに向けて、実践的な指導と準備学習を行い、課題を達成した時の感動が高まるようにした。</p>

学 会 に お け る 活 動		
所属学会等の名称	役職名等 (任期)	加入時期
日本比較文化学会	会長：2018年度～現在	1996年
日本比較文化学会九州支部	支部長：2010年度～現在	1996年
余暇ツーリズム学会	常任理事：2021年度～現在	2005年
映画英語アカデミー学会	九州支部事務局長：2014年度～現在 理事・福岡支部長：2015年度～現在	2013年

2022年度 研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
(著書)				
(学術論文)				
(翻訳)				

2022年度 研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称 (学会発表)	単著・ 共著の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概要

外部資金（科学研究費補助金等）導入状況（本学共同研究費を含む）			
(1) 共同研究			
研究題目	交付団体	研究者 ○代表者（）内は学外者	交付決定額 (単位：円)

外部資金（科学研究費補助金等）導入状況（本学共同研究費を含む）			
(2) 個人研究			
研究題目	交付団体	交付決定額 (単位：円)	備考

社会における活動等		
団体・委員会等の名称 (内容)	役職名等	任期 期間等

学内における活動等（役職、委員、学生支援など）
人文学部長 学生募集委員 教育経費予算委員